

平成 21 年（2009 年）の硫黄島火山活動

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター
沖縄気象台地震火山課

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

○ 2009 年の活動概況

1 月、5 月、7 月及び 9 月に行った海上からの観測及び 2 月、4 月に第十一管区海上保安本部が行った上空からの観測では、島の北側に位置する硫黄岳火口からの少量の噴気が確認されたほか、島の中央部に位置するグスク火山火口からもごく少量の噴気が時々確認されました。また、硫黄岳南西海岸付近では乳白色の変色域が確認されています。各火口の噴気の様子は、2008 年に行った観測と比べて、特段の変化は認められませんでした。



図 1 硫黄島 火口の位置

この資料は気象庁のほか、第十管区海上保安本部のデータを利用して作成しています。

資料中の地図については、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『25000 分の 1 地形図』の複製したものを使用しています（承認番号：平 20 業複、第 647 号）。

■ 1 月 27 日の観測（長崎海洋气象台）



島南西側から見た硫黄岳



島東側から見たグスク火山

■ 2 月 3 日の観測（第十一管区海上保安本部）



島北西側上空から見た硫黄岳



島西側上空から見たグスク火山

■ 4 月 9 日の観測（第十一管区海上保安本部）



島西側上空から見た硫黄岳



島南東側上空から見たグスク火山

■ 5 月 6 日の観測（長崎海洋气象台）



島南西側から見た硫黄岳



島東側から見たグスク火山

■ 7 月 4 日の観測（長崎海洋气象台）



島北南西側から見た硫黄岳



島東側から見たグスク火山

■ 9 月 28 日の観測（長崎海洋气象台）



島南西側から見た硫黄岳



島南東側から見たグスク火山